

豊田工業大学 スマートビークル研究センター

第5回シンポジウムプログラム

開催日時： 2015年10月22日（木） 13:00～17:20

開催場所： 豊田工業大学 8号棟3階 大講義室

【挨拶ならびに活動状況報告】

13:00～13:10 学長挨拶 豊田工業大学 学長 榊 裕之

13:10～13:40 活動状況報告 センター長 三田 誠一

【第1セッション】

13:40～14:30 <招待講演1>

菅沼 直樹 氏

金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア

自動運転ユニット ユニットリーダー 准教授

「自動運転自動車の市街地公道走行実証実験の現状と課題」

14:30～14:55 <学内研究報告1>

佐々木 裕

豊田工業大学 教授

「賢い自動走行のための知識と推論」

14:55～15:05 休憩

【第2セッション】

15:05～15:55 <招待講演2>

二宮 芳樹 氏

名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ部門 特任教授

「高齢化社会のための高度運転支援・自動運転」

15:55～16:20 <学内研究報告2>

藤崎 敬介

豊田工業大学 教授

「電気自動車の全体設計からみた高効率モータ駆動システム」

【見学会】

16:20～17:20 実験車両 他

招待講演 概要

<招待講演 1> 菅沼直樹氏

題目：自動運転自動車の市街地公道走行実証実験の現状と課題

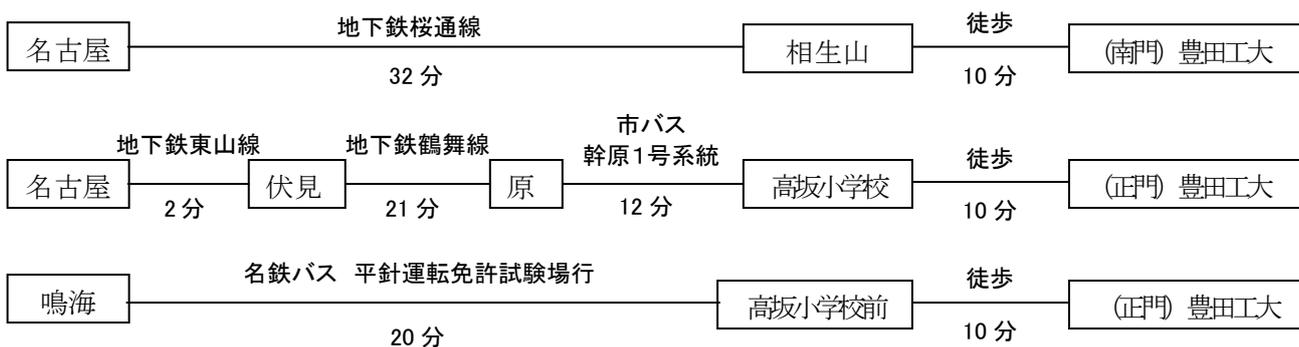
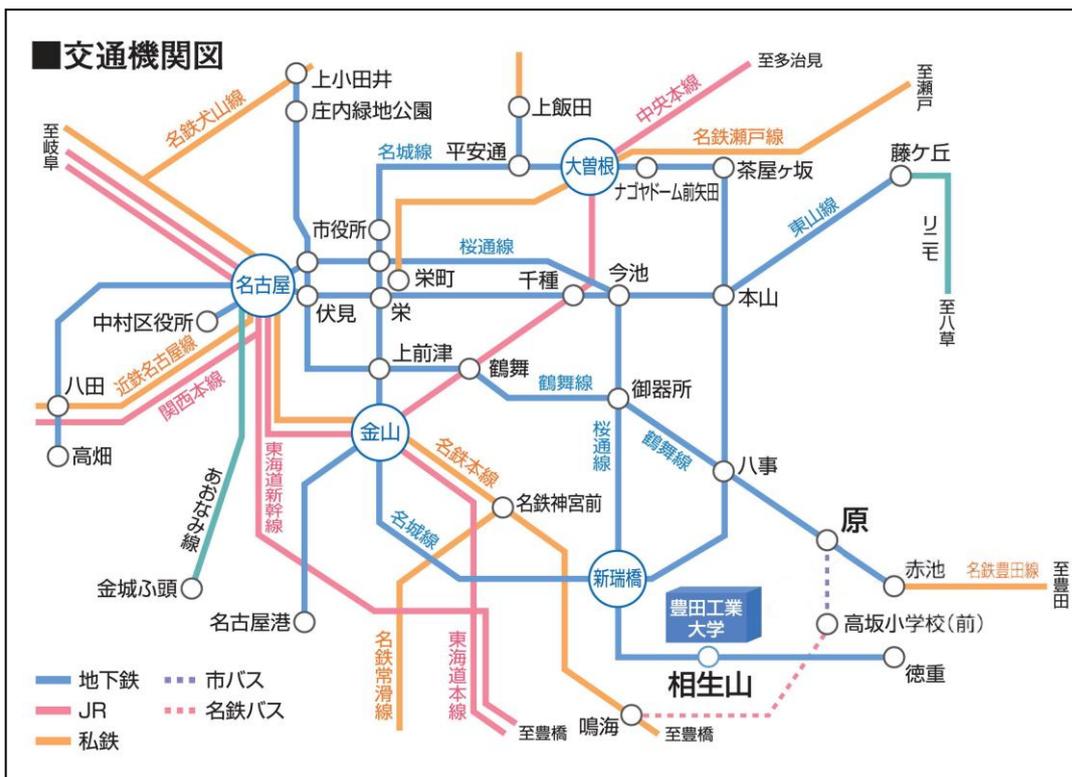
近年、世界各国において自動運転自動車の市街地公道走行実証実験が行われ、自動運転自動車がより身近なものになりつつある。日本においても、近年になり自動運転自動車の市街地走行がいくつかの地域で実施されるようになり、その研究開発が活発になっている。本講演では金沢大学が現在実施している自動運転自動車の市街地公道走行実証実験の概要とその課題について述べる。

<招待講演 2> 二宮芳樹氏

題目：高齢化社会のための高度運転支援・自動運転

高齢化社会で生き生きとした生活を維持していくためにはモビリティの確保が重要課題となる。自動運転・高度運転支援技術は、事故や渋滞の削減のみならず、高齢化社会のモビリティとしての期待も大きい。本講演では名古屋大学の革新的イノベーション創出プログラム（COI Stream）を中心に進めている活動について、特に生活道路での自動運転技術を中心に、要素技術と実証実験の現状を報告する。独自に開発した高精度地図とそれを活用するための測位技術、高精度地図を発展させたダイナミックマップ、さらに運転指導員の運転解析に基づく自動運転技術について詳細を示す。

<本学への交通案内>



南門からは車での入構はできません (徒歩または自転車のみ)。

交通アクセスの詳細はホームページ(<http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html>)をご参照ください。